

2. 本日のプログラム ○クラブ協議会

職業奉仕月間／親睦活動委員会

○職業奉仕担当理事 牧野利美君

これから、「職業奉仕と私」・「私の職業奉仕」等の話しを会員4名より卓話していただきます。
それではよろしくお願いたします。

○発表者／齋藤豊久君

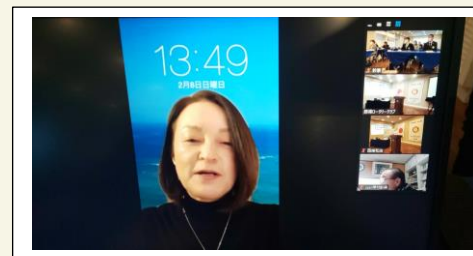
古い資料に入門書があり職業奉仕、社会奉仕の基本がありました。2003年度のもので、自分の利潤追求が職業、奉仕は他人が得るもの、この二つが重なっているから難しい。損して得取れというわけにはいかない、損は損として別に扱えと学びました。必ず次の会合にも出席する、翌年度にもつながっていく面白いこともたくさん出来ます。職業奉仕の委員会にも参加してきました、自己の利益と他人の利益の追求、この事もどの様にメンバーと一緒に計画を立てていくことが大切です。

○発表者／齋藤麻美子君

自己と利他の調和、三方よしが真髓だと思えます。廻船問屋を営んできています。船が夜中でも、仕込みをしたり、病院や様々な手当てをする必要があります。働き手不足や魚離れ、漁師の収入面、燃料調達の問題があったりと様々です。厚生労働省に出向いたり、スーパーとタッグを組んで戦略計画をたてています。レンジで加工できる食品が人気です。安くても品質のいいものの商品化もしています。皆様、奥様が喜ばれる加工品ですので是非お試しください。多くの方にこれからも、魚を食べていただき健康に繋げてもらい、漁業発展に邁進していきます。

○発表者／磯野典正君

1999年に創業です。信用を広げる会社というこだわりから会社名としています、サービスとはスマイルサービス0円、そういうものだと思います。価値がどのように提供できるかだと思います。床下や地中の仕事に技術提供してきています。お客様は紹介したくなるサービスをすること。それには一人では何もできません、社員と奉仕をしていくこと、地域に対してのサービスが経営理念です、現場は我が家です。仕事で感動を与えていけるよう社員教育をしています。社員とその家族の誕生日会を社員みんなでお祝いしています。奉仕ができる術を社員みんなでも共有し相談し仕事をしています。これが職業奉仕だと思います。



2. 本日のプログラム ○クラブ協議会

職業奉仕月間／親睦活動委員会

○まとめ発表者／吉田理愛君

こんにちは。ロータリーの職業奉仕に対する考え方について、特に、日本のロータリーの中では、とてもデリケートな問題であると認識しております。しかしながら、私は、職業奉仕について、日本のロータリーにおける考え方について、よく理解しておりません。おそらく私以降に入会された皆さんも、職業奉仕って何よ？というのが正直な感想かと思います。よく分からないまま、例えば例会をお休みする時などに、「今日は職業奉仕でお休みします。」とかの使い方をしていると思います。

「職業奉仕」という言葉、日本と、日本以外のロータリアンの使い方の違い「職業奉仕」 Vocational Service という言葉で、日本以外のロータリアンと日本のロータリアンが明らかに、異なる内容を語っていることをはっきり認識したのは、2012年バンコク国際大会の職業奉仕に関する分科会でのことでした。日本のロータリアンはお馴染みの「職業奉仕」の理念を熱心に語り、一方、日本以外のロータリアンは「職業奉仕部門」の活動事例を語り、両者はかみ合わないまま分科会は終わりました。つまり、従来語られてきた日本の「職業奉仕」論と RI が推奨する「職業奉仕」は、内容が異なる。「職業奉仕」という言葉で、世界のロータリアンは、奉仕部門の一つとしての 職業奉仕の活動を語り、日本のロータリアンは「奉仕の理念」の職業への適用や自分自身の職業観を語っている。という事です。勿論、本田氏は、日本の伝統的な職業奉仕論の本旨を否定している訳ではないと、言っています。でもそこは、「職業奉仕」という言葉ではなく、世界共通の、「奉仕の理念」という言葉で、ロータリーの理念についての議論を深めてゆこうという事です。なぜなら、ロータリーの目的は、奉仕の理念を奨励し、これを育むことであり、「奉仕の理念」がロータリーの根幹であるからです。そして、クラブの活動のための枠組である「五大奉仕部門」の中の第二部門である「職業奉仕部門」の活動だけに「職業奉仕」という言葉を使いましょうと説明されています。日本と RI の「職業奉仕」の違いは、単に解釈の違いだ、解釈は違っても良いのではないかと、日本は日本の「職業奉仕」論を大切にしたい！という人が多いのですが、RI が示しているのは解釈ではなく定義です。「実践しよう」や「行動しよう」で明らかのように、職業奉仕の理念の奨励・研鑽だけでなく、クラブとしての職業奉仕の活動が強く求められています。つまり、日本の「職業奉仕」論は、世界では「職業倫理」論というテーマで扱っているそうです。ロータリーは、初期のころから現代に至るまで職業倫理や高潔性を大事にし、強調する集団で、あり続けることは間違いではありません。しかしこれは「職業奉仕」という言葉を使わずとも十分説明できることであり、現代においても倫理や高潔性が、ロータリーの重要概念であることは、世界共通の認識です。日本の固定観念的な「職業奉仕」の捉え方と説明の仕方を切替なければ、世界のロータリーとの溝を埋めることは叶いません。「奉仕の理念」を語るだけでなく、その実践が大事であると本田氏は述べられております。「奉仕の理念」をこれからも大事に守り育て、人生や、ロータリー運動の中で実践してゆけば、より良い世界の可能性と希望が見えてくる、ロータリーの理念を、「職業奉仕」という言葉ではなく、「奉仕の理念」という言葉で語り、「奉仕の理念」を実践しよう！と結論されております。行動体験として「職業奉仕」とは、自分の職業上のスキルを社会の為に役立てる事なのだなと解釈しました。ロータリーってなんて素晴らしい団体なのだろうと感動したものです。まさに「職業奉仕」に対する先入観や知識が、まさるな状態で経験した、最初のロータリーでのプロジェクトが、自分が勤めるホテルでの職業スキルを生かしたものであったが為の、当時の日本の「職業奉仕」論とは違いましたが、ラッキーな誤解であったと言えます。実際に、そのプロジェクト内容は、実践しよう！行動しよう！にかなったもので、世界認識の「職業奉仕」であったのかなと今は思います。



勝浦 RC のプロジェクトや活動は、会員のスキルを生かしたものが多くと思います。職業奉仕部門の定義、自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てる為に、クラブが開発したプロジェクトに応える。これは、今までも、そしてこれからも、勝浦 RC なら実践してゆけると確信しております。まさに世界共通認識の「職業奉仕」であります。これまでの日本のロータリーでいう所の「職業奉仕」論については、「奉仕の理念」の追及、研究、研鑽というカタチで、大切に継続していく。複雑でデリケートなように思われてきた問題でしたが、シンプルです。勝浦 RC としては、今まで通り、会員各々がそのスキルを生かし、クラブのプロジェクトに応え、行動し、実践する。そして、加えるとすれば今まで以上に、会員研修の場を増やし、奉仕の理念について談義し、研鑽してゆきましようという事になります。以上で私の話は終わります。日本と日本以外のロータリアンにおける「職業奉仕」の解釈と現状、相違のお話でした。もっと詳しく深めたい方は、100周年記念誌に本田さん以外にもイロイロな方の職業奉仕のお話など掲載されておりますので、お読み下さい。ご清聴、ありがとうございました。

3. 幹事報告

次回例会予定

○1月21日 卓話例会

(会員卓話：後藤隆晃君)

○1月28日 卓話例会

(ゲスト卓話：第2790地区ガバナー
ミニーデングネート 寒郡茂樹様)

○2月4日 卓話例会

(ゲスト卓話：旅館滝見苑 会長 富
沢清行様)

○2月11日 休会

○2月18日 クラブ協議会

(60周年記念準備委員会)

○2月25日 卓話例会

(会員卓話：浅野玄航君)

例会日：毎週金曜日

例会場所：ホテル ブルーベリーヒル勝浦
勝浦市興津1920

TEL：0470-76-3400

事務局：勝浦市串浜1193-2
西崎和治 方

TEL：0470-73-5207

FAX：0470-73-5504



○1月9日に米山記念奨学会1月報告会が開催され、勝浦ロータリークラブから内村委員長が参加されました。

○例会場入口に出席名簿を設置していましたが、廃止といたしました。。

○R L Iパート1が2月5日に開催されます。未受講の方は参加ください。

○今月のロータリーレートは1ドル115円です。

○館山ベイロータリークラブより週報が届いています。

4. 第8回理事会

《議 題》

第1号 緊急事態宣言、蔓延防止地域、近隣のコロナ感染者数の増加時の今後の例会について

☆勝浦市が緊急事態宣言、蔓延防止地域指定に該当した場合は完全オンラインとし、また会員と会員の同居の家族が感染または濃厚接触者になった場合は申し出てもらい、同じく完全オンライン例会とし、その説明案内をFAXする。次週は蓋つきのお弁当にしてもらい、ハイブリッド例会を開催する

第2号 下期の会費について

☆下期会費は115,000円とし、米山記念奨学委員会への普通寄付の不足分上期500円、下期500円は会費から支払い、普通寄付は15,000円以上と明記しFAXにてお願いする。

第3号 プログラムについて (プログラム委員会)

☆1月21日の会員卓話をオンラインで参加できるか確認し、できないようであればココアワーに変更する。

☆全てのプログラムがオンラインでも対応できるか確認する。

第4号 会員基盤向上セミナーの進捗状況について

☆3月11日ホテルブルーベリーヒル勝浦にて5、6、7グループ合同で開催予定。勝浦RCの会員には会場が多目的ホールのため、駐車場係を依頼したい。他、会場設営。

☆鐘、旗等の備品の貸出を承認。

第5号 ロータリー米山奨学会普通寄付について (米山奨学会委員会)

☆第2号議案にて決定済。

第6号 その他

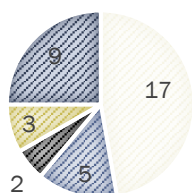
親睦研修旅行について☆参加者が現在14名。4月10日羽田発7時前後、同11日鹿児島発18時前後の飛行機を調べ、何日前までにキャンセルできるか調べる。コロナ感染状況によっては中止もありうる。

成田コスモポリタンRC野球部との交流について

☆詳細を確認し、2月の理事会で諮る。

出席報告

■出席者 ■MU ■ZOOM ■欠席者 ■免除



会員数 36名
出席率 94.3%

出席委員長：岩瀬洋男